
三島市長定例記者会見資料

令和元年9月

月間行事予定



みしまジュニアスポーツアカデミー 第5期生募集

日時 令和元年8月23日（金）
午前10時30分～

場所 三島市役所 本館2階 市長応接室

2015 年以来、4 年ぶり

米国代表対東レアローズエキシビジョンマッチ

～米国ホストタウン交流事業～

10月に国内で開催されるバレーボール「ワールドカップ2019」に出場する米国代表が9月下旬に三島市で直前合宿を行います。この合宿に伴い、9月27日(金)に、当市に本拠地を置く東レアローズとのエキシビジョンマッチを実施します。

当該エキシビジョンに、特別招待の市内バレーボール少年団をはじめ、市民を優先に観客を募集し、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図りたいと考えています。

観客の募集は、9月1日から17日(正午)まで、広報みしまと三島市公式ホームページで行う予定です。

また、エキシビジョンマッチを、在名古屋米国領事館ゲーリー・シェイファー首席領事や米国オリンピック委員会日本駐在員ジョン・大森氏も観戦予定する予定です。

ここがポイント！

- 9月27日(金)に、米国代表(世界ランキング2位)と東レアローズがエキシビジョンマッチを行う。
- 当該エキシビジョンに、市内バレーボール少年団や市民を優先に、観客約450名を無料招待。
- 観客の募集は、9月1日から9月17日(正午)まで、広報みしまと三島市公式ホームページで行う予定。
- 在名古屋米国領事館 ゲーリー・シェイファー首席領事、米国オリンピック委員会日本駐在員も観戦予定。
- 米国代表は、8月11日に、東京2020オリンピックの出場を確定させた。

1 エキシビジョンマッチ

- (1) **開催日時** 9月27日(金)(開場)午後3時 (試合開始)午後4時 (試合終了)午後6時
- (2) **会場** 東レ三島工場体育館(三島市末広町23-14)
- (3) **内容** 米国代表と東レアローズとのエキシビジョンマッチに、市内バレーボール少年団や三島市民を中心に、約450人の観戦客をご招待。
- (4) **主催** 三島市、東レアローズ



【2015年9月東レアローズとのエキシビジョンマッチ】

2 米国代表合宿について

- (1) **合宿期間** 9月23日(月)から28日まで(土)
- (2) **会場** 東レ三島工場体育館(三島市末広町23-14)
- (3) **合宿人数** 選手、スタッフ総勢22名

3 過去の受入実績について

2015年9月に、米国代表の合宿を受入れ、東レアローズとのエキシビジョンマッチや三嶋大社参拝などを行った。

その後のワールドカップで、米国代表は優勝し、リオ五輪の出場権を獲得した。

※2019年のワールドカップは、東京2020オリンピックの出場権はかかっている。

※ ホストタウンについて

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、地方公共団体が大会参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図り、地域活性化などを進めることを目的としたもので、国(内閣官房)が推進している制度。三島市は、平成28年1月に、「米国」のホストタウンになっている。

三島市産業文化部商工観光課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：鈴木政則
TEL. 055-983-2656 FAX. 055-983-2754 緊急時連絡先(担当携帯)
e-mail: syoukou@city.mishima.shizuoka.jp



せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～



スポーツみしまトップアスリート発掘・育成事業

みしまジュニアスポーツアカデミー第5期生募集

～ここから目指す世界の表彰台～

平成27年度からスタートした、みしまジュニアスポーツアカデミーは、「ここから目指す世界の表彰台」をコンセプトに、将来、全国大会や国際舞台で活躍できる選手を発掘・育成する取り組みです。

みしまジュニアスポーツアカデミーでは、11月から約1年間のトレーニングプログラムを行う第5期生の募集を行います。第5期生は、10月に行う選考会で運動能力の高い20～30名程度を採用する予定です。

ここがポイント！

- 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした、選手の発掘・育成の取り組みである。
- 運動能力の高い子どもたちを選考会で選抜し、部活動や学校では経験できない新たな競技に挑戦する機会を作る。

1 開講式までのスケジュール

8月30日(金)	募集開始(市内各小中学校に申込書配布)
9月30日(月)	募集締切
10月14日(月・祝)	選考会 午前10時から 市民体育館1階 競技場
11月14日(木)	開講式 午後7時から 市民体育館2階 大会議室

2 事業内容

対象者	市内在住または在学の小学5年生～中学2年生
申込方法	申込書(HPからダウンロード可)に必要事項を記入し、9月30日(月)までにみしまジュニアスポーツアカデミー事務局(411-0033 三島市文教町2-10-57 スポーツ推進課内)へ持参または郵送
選考会内容	新体力テストに準ずる ※一部種目変更の可能性あり
合格者数	20～30名程度
体験競技	自転車、ホッケー、レスリング、ボート、フェンシング

3 修了生および第4期生のこれまでの経過

- 第1期生
 - ボート 全日本中学選手権競漕大会(シングルスカル) 準決勝進出
 - レスリング 高校総体(団体戦) 出場
- 第3期生
 - レスリング 全国少年少女選抜レスリング選手権 2位
 - 全国中学生レスリング選手権 優勝
 - フェンシング 東京ガーデンビギナーズフェンシング大会 優勝
- 第4期生は16名が在籍しており、競技体験プログラムを実施中。フェンシング、自転車、ホッケーの競技体験プログラムは終了し、今後はレスリングとボートを実施予定。

三島市健康推進部スポーツ推進課 〒411-0033 静岡県三島市文教町2-10-57 担当：遠藤
TEL. 055-987-7571 FAX. 055-987-8550 e-mail : sport@city.mishima.shizuoka.jp



市の取り組みの満足率1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」

令和元年度「三島市市民意識調査」調査結果の特徴

市民の皆さまの意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。

ここがポイント！

- 三島市の市民意識調査は第4次三島市総合計画に対応し、「総合計画の指標」「市の取り組みの満足率」などを進捗状況や経年変化がわかるように調査しています。
- 「住みやすさ」と「市への愛着率」は、調査開始以来、最高値。
- 市の取り組みの満足率1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」67.2%。
- 市の施策の重要度1位は「地震・水害などの防災対策」4.54点。
- 市民の幸福感は国の平均より高くなっています。

1 調査方法

市民から単純無作為抽出した18歳以上の男女2,000人を対象として、郵送及びインターネットで調査。有効回収数は1,085件（内、ネット回答127件）、回収率は54.3%で、30年度より1.5%減少しました。

2 調査の内容

【継続調査】

- ・「居住環境」について
- ・「総合計画の指標に関する項目」について
- ・「幸福感」について
- ・「環境への取り組み」について
- ・「災害対策」について
- ・「文化的環境」について
- ・「公共交通」について
- ・「市の取り組みの満足度・重要度」について
- ・「自治会・町内会での活動」について
- ・「健康」について
- ・「広報活動」について
- ・「男女共同参画」について
- ・「障がいのある人への理解」について

【新規調査】

- ・「三島駅南北自由通路の整備」について
- ・「税金」について
- ・「産業振興・ホストタウン」について
- ・「土地利用」について

3 令和元年度の結果の特徴

特徴1 「住みやすさ」や「市への愛着率」が高くなっています。

(1)毎年高い満足率を得ているもの

「住みやすさ」91.2%（前年度90.4%）は、平成15年度の調査開始以降最高値となっています。（満足率＝「満足」＋「やや満足」）

「三島市への愛着率」86.8%（前年度86.4%）も、平成15年度の調査開始以降最高値となっています。（愛着率＝「非常に愛着を感じる」＋「やや愛着を感じる」）

(2)生活環境の満足率

「水のきれいさ」81.1%（前年度79.3%）、「空気のさわやかさ」74.3%（前年度73.0%）、「身近な緑や自然の量」69.0%（前年度63.5%）が上位3項目となりました。



せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

特徴2 将来の三島市像については、健康、福祉、自然、環境に引き続き期待が集まっています。

(1)三島市が将来どのような都市になったらよいか

上位2項目である「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しい安らぎのある都市」への期待が継続しています。

三島市がどのような町になったらよいか（1つ選択）

将来都市像		R1 (前年比)	H30 (順位)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	30.6 (-0.7%)	31.3 (1位)	33.8 (1位)	31.3 (1位)	33.9 (1位)	36.1 (1位)
2位	自然や環境に優しい安らぎのある都市	19.4 (+1.7%)	17.7 (2位)	18.3 (2位)	16.2 (2位)	17.2 (2位)	15.6 (2位)
3位	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	12.3 (+1.5%)	10.8 (4位)	10.9 (4位)	12.8 (4位)	8.2 (5位)	12.4 (3位)
4位	歴史や文化を大切にした風格ある都市	11.8 (-2.3%)	14.1 (3位)	11.0 (3位)	13.1 (3位)	12.8 (3位)	11.2 (4位)
5位	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	8.8 (+1.5%)	7.3 (6位)	7.9 (6位)	6.9 (5位)	9.0 (4位)	6.7 (5位)
6位	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	7.4 (+1.4%)	6.0 (7位)	4.0 (7位)	6.8 (6位)	6.0 (7位)	5.6 (7位)
7位	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	5.9 (-1.6%)	7.5 (5位)	8.0 (5位)	5.9 (7位)	7.0 (6位)	6.4 (6位)

(2)将来の都市規模

「伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度」が最多となり、伊豆地域を代表する規模の都市への期待が高まっています。

将来の都市規模	R1	H30
伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	36.1%	32.8%
現状のまま、人口11万人程度	34.4%	36.7%
県東部の中核都市、人口30～40万人程度	17.4%	17.7%
人口20万人程度	7.0%	6.1%
人口70万人程度	3.9%	4.7%



せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

特徴3 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足率が高くなっています。

(1)満足率上位5項目

前年と項目・順位は同じであり、「ガーデンシティみしま」や「スマートウェルネスみしま」の2本柱の関連項目を中心に高い満足率が維持されています。

(2)不満率上位5項目

上位の5項目に変化は見られませんでした。

▼項目別満足率(=「満足」+「やや満足」)

項目別満足率		分類	R1 (前年比)	H30 (順位)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	67.2 (-5.6%)	72.8 (1位)	71.2 (1位)	69.4 (1位)	60.9 (1位)	69.3 (1位)
2位	「広報みしま」による市政情報の提供	協働・ 行財政	56.7 (+0.4%)	56.3 (2位)	57.7 (2位)	59.6 (2位)	53.3 (2位)	58.6 (2位)
3位	美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	都市基盤	47.9 (-5.5%)	53.4 (3位)	51.7 (3位)	53.7 (3位)	43.7 (5位)	48.0 (4位)
4位	公園・水辺空間の整備	環境保全	47.2 (-0.3%)	47.5 (4位)	49.1 (4位)	49.2 (4位)	44.2 (3位)	49.6 (3位)
5位	健康診査、健康相談等の健康増進	健康・ 福祉	46.4 (+2.2%)	44.2 (5位)	44.0 (5位)	45.3 (5位)	43.0 (6位)	42.9 (6位)

▼項目別不満率(=「不満」+「やや不満」)

項目別満足率		分類	R1 (前年比)	H30 (前年比)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)
1位	歩道の整備	都市基盤	46.8 (+4.0%)	42.8 (1位)	39.8 (1位)	38.4 (1位)	42.2 (1位)	41.9 (1位)
2位	バスなどの公共交通の充実	都市基盤	41.9 (+5.2%)	36.7 (4位)	36.2 (2位)	36.3 (2位)	33.5 (3位)	35.7 (3位)
3位	三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	39.6 (+1.1%)	38.5 (2位)	32.6 (4位)	34.7 (4位)	32.9 (4位)	33.0 (5位)
4位	生活道路の整備	都市基盤	38.8 (+1.5%)	37.3 (3位)	36.0 (3位)	35.5 (3位)	40.0 (2位)	37.4 (2位)
5位	にぎわいのある商業・商店街づくり	産業振興	30.4 (-0.1%)	30.5 (5位)	31.4 (5位)	27.1 (5位)	30.4 (5位)	34.2 (4位)

特徴4 施策の重要度は、「防災」「救急」の分野で高く、上位5項目とも満足度は3.0点を上回っています。

重要度上位5項目		分類	重要度	満足度
1位	地震・水害などの防災対策	市民生活	4.54点	3.16点
2位	消防・救急体制の確保	市民生活	4.51点	3.50点
3位	休日・夜間の救急医療体制の充実	健康・福祉	4.47点	3.10点
4位	交通安全の対策	市民生活	4.42点	3.10点
5位	日常での医療サービスを受ける環境	健康・福祉	4.38点	3.36点

※重要度・満足度とも5点満点。全42項目



せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

特徴5 市民の幸福感は国の平均より高くなっています。

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思われますか。』の問いに対し、市民の平均点6.82は昨年度とほぼ同じで、国の平均点6.38(※)より0.44点高く、自分が幸福と感じている人が多くなっています。

	R1	H30	H29
幸福感平均点	6.82	6.83	6.64

※厚生労働省「健康意識に関する調査」より(対象20歳以上・5,000人)平成26年2月実施
また、幸福感を判断する際に重視する事項は、「家族関係」が「健康状況」を抜いて最多となりました。
幸福感を判断する際の重視事項(複数回答可)

項目		R1 (前年比)	H30	H29	H28	H27
1位	家族関係	60.4 (+3.3%)	56.7	57.0	55.9	54.0
2位	健康状況	60.0 (+2.7%)	57.3	60.7	62.8	61.0
3位	家計の状況	55.3 (+3.8%)	51.5	47.9	50.6	50.1
4位	精神的なゆとり	42.2 (+3.9%)	38.3	40.7	41.3	37.1
5位	自由な時間	39.9 (+4.9%)	35.0	35.8	35.6	34.6

令和元年度新規調査項目について

(1) 三島駅南北自由通路の整備について

「南北自由通路の整備は必要だと思いますか」の問いに対し、「必要」が77.5%、「不要」が7.4%となりました。「必要と回答した理由(複数回答可)」の問いに対しては、「旅行者の利便性が向上する(72.5%)」、「三島駅周辺のぎわいが創出される(62.1%)」、「通勤・通学で使用する(42.2%)」が上位3項目となりました。

(2) 産業振興・ホストタウンについて

「あなたは市内のお店(チェーン店を除く)を、買い物等でどの程度利用しますか」の問いに対し、「たまに利用する(月に1回以上)」が30.0%、「よく利用する(週に1回以上)」が25.1%、「あまり利用しない」が23.5%で上位3項目になりました。また、「三島市がアメリカ合衆国のホストタウンであることを知っていますか」の問いに対し、「知っている」は20.6%でした。

(3) 税金について

「市税についてどのような情報を知りたいですか」の問いに対し、「市税の使い道」が55.6%、「市税の軽減対策」が17.1%、「市税の公平性」が10.6%で上位3項目になりました。

(4) 土地利用(土地の使い方)について

「東駿河湾環状道路・インターチェンジ周辺及び今後整備予定の主要幹線道路(谷田幸原線・西間門新谷線)について、今後、特にどのような点を重視した土地利用を進めていくべきか」の問いに対し、いずれの地域においても、「豊かな自然環境の保全を図る」が最多となりました。

三島市企画戦略部広報広聴課 市民生活相談センター

〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：渡邊 雄平

TEL. 055-983-2621 FAX. 055-983-2753 e-mail : soudan@city.mishima.shizuoka.jp

「三島駅南口東街区再開発事業」市民説明会

～事業の検討状況等について～

昨年8月の事業協力協定の締結後、事業検討を進めるにあたり、市では市民説明会を開催し、事業協力者の提案に対する市民の皆様のご意見等を伺ってまいりました。本年2月の市民説明会では市民意見等に対する市の考え方や対応方針についてお知らせしたところです。

このたびの説明会では、2月の市民説明会以降の事業の検討状況等をご説明するとともに、今後の事業のながれについてお知らせいたします。

ここがポイント！

- 本年2月に開催した市民説明会以降の、事業の検討状況等をご説明します。
- 2020年5月頃の都市計画決定を目指し、引き続き、準備組合や事業協力者と連携・協力して、計画検討を進めていきます。

1 開催概要

日時 9月27日（金） 午後7時から（開場：午後6時30分）

会場 三島市民文化会館 大ホール

内容（予定）

- (1) 施設計画案の検討状況
- (2) 今後の事業のながれ
- (3) 質疑応答

2 申込方法

参加ご希望の方は、9月25日（水）までに、①氏名（代表者）・②連絡先・③参加人数 を、電話・FAX・メール等により、三島駅周辺整備推進課までお申込みください。



【2月12日 市民文化会館での市民説明会の開催風景】

三島市計画まちづくり部三島駅周辺整備推進課 〒411-8666 静岡県三島市北田町 4-47 担当：勝又
 TEL. 055-983-2633 FAX. 055-973-7241 緊急時連絡先
 e-mail : ekishuuhen@city.mishima.shizuoka.jp

第2回「ふるさと三島大賞」

～ 三島をよくする活動を表彰 ～

三島市では、シビックプライドをもって魅力あふれる住みよい地域づくりに継続的に活動する産業、観光、文化等あらゆる団体の中から特に優れた活動を行っている団体を表彰することにより、ふるさとへの情熱や想いを更に高め、豊かで活力のある地域社会の構築を図ることを目的に昨年度「ふるさと三島大賞」を創設し2回目となります。

ここがポイント！

- 産業、観光、文化等あらゆる団体を対象とし、自薦、他薦による応募です。

1 募集対象

三島への情熱や想いをもち地域において3年以上活動し今後も継続して活動していく団体(サークル、組織、集団、法人等)

※平成31年3月31日現在で3年以上活動していること。ただし、以前に大賞を受賞した団体は除き、優秀賞、奨励賞を受賞した団体は受賞年から3年間は応募不可

2 募集締切

10月15日(火)

3 選考のポイント

- ・主体性 主体的に活動していること
- ・地域性 地域の特性、課題、実情を認識して活動をしていること
- ・継続性 活動が継続していること
- ・発展性 一過性でなく、今後さらに活動の維持・発展性があること

4 賞

大賞、優秀賞、奨励賞

5 表彰式・活動発表

日 時 11月21日(木)

表彰式：午後2時から

活動発表：午後2時30分から

場 所 市民生涯学習センター3階 講義室



【昨年度 大賞「三島農兵節普及会」】

- ### 6 後援
- 三島市教育委員会、三島市自治会連合会、三島市社会福祉協議会、三島商工会議所
三島市観光協会、三島函南農業協同組合

三島市環境市民部地域協働・安全課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：肥後恵子
TEL. 055-983-2708 FAX. 055-975-3130 緊急時連絡先(担当携帯)
e-mail : chiiki@city.mishima.shizuoka.jp



美しい山城を後世へ残したい

ガバメントクラウドファンディングを実施

～史跡山中城跡の維持管理のための寄附を募ります～

箱根西麓に位置する国指定史跡の山中城跡は、市制40周年にあたる昭和56年に史跡公園として無料公開され、広く皆さまに親しまれています。北条氏の築城技術を駆使して戦国時代末期に造られた城で、「障子堀（しょうじぼり）」や「畝堀（うねぼり）」が特徴です。400年前の遺構をそのまま復元している山城は全国的にも珍しく、平成18年には日本百名城として選定されています。日本が誇る貴重な文化財「山中城跡」を良好な状態で後世へ受け継いでいくため、ガバメントクラウドファンディングを活用して寄附を募ります。

ここがポイント！

- 魅力ある史跡公園として多くの観光客が訪れる「日本一美しい山城」を目指します。
- ふるさと納税制度を利用するため、税控除があります。
- 寄附者の名前入りのぼり旗を、山中城跡に飾ります。

1 事業内容

- (1) 目的 山中城跡は第1期環境整備後約40年が経過し、堀や土塁の崩落が目立ち始めたため、国と県の補助を受け、平成24年度から7カ年をかけて再整備を行い、開園当時の復元状況に戻りました。この再整備事業の効果や近年のお城ブームの影響、また“箱根八里”の静岡県内初となる日本遺産認定により一層注目が集まり、観光客の増加が予想されますが、広大な面積を誇る山中城跡を日常的に維持管理していくためには多額の費用を要します。山中城跡の歴史的景観を維持し、訪れる方皆さまが快適にお過ごしいただくために、令和元年度の予算1,513万円のうち、約1割の150万円をご支援いただきたいと考えております。
- (2) 寄附金の使途 張芝の手入れ、雑木雑草の除去、樹木の刈込み・剪定・伐採、敷地内清掃等
- (3) 募集期間 8月30日(金)正午～11月30日(土)24:00
- (4) 目標金額 150万円
- (5) 寄附方法 ウェブサイト「ふるさとチョイス」の“ガバメントクラウドファンディング”のページから行います。(https://www.furusato-tax.jp/gcf/611)
- (6) 返礼品 寄附者の名前入りのぼり旗を山中城跡に飾ります。
〔寄附金額に応じ、名入りのぼり旗をたてるエリアが選べます〕
〔寄附金額5,000円以上で市外の方〕ミニのぼり旗を差し上げます
※寄附金額の下限はありませんが、返礼品は1回の寄附金額が5,000円以上の方が対象です。

2 関連事業 “いざ山中城！山中城跡にのぼり旗をたてよう”

- (1) 日時 11月9日(土) 雨天の場合は11月16日(土)に順延
- (2) 内容 学芸員による山中城案内（普段は入れない障子堀や畝堀に入ることができます）、名入りのぼり旗の掲示
- (3) 対象 寄附していただいた方全員（イベント招待状を送付します）



〔寄附金制度について〕

三島市財政経営部財政課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：伊奈慎太郎
TEL. 055-983-2622 FAX. 055-973-5722 e-mail : zaisei@city.mishima.shizuoka.jp

〔事業内容について〕

三島市教育推進部郷土文化財室 〒411-8666 静岡県三島市大宮町1-8-38 担当：寺田光一郎
TEL. 055-983-2672 FAX. 055-983-0870 緊急時連絡先（担当携帯）
e-mail : bunkazai@city.mishima.shizuoka.jp

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～



居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を目指す

ウォーカブル推進都市について

三島市は令和元年8月2日、国土交通省が募集する「ウォーカブル推進都市」に応募し、参画することとなりました。

世界の多くの都市で、まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取り組みが進められる中、国土交通省は、都市再生の方向性として、まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指していくことを提言しています。ウォーカブル推進都市は、その考えに共鳴した全国の地方公共団体が、政策実施のパートナーとして参画するものです。

この取組は、ひと中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止のほか、様々な地域課題の解決や新たな価値の創造につながります。

ここがポイント！

- 国土交通省が提言する「車中心」から「ひと」中心のまちづくりによる都市再生のコンセプトに共鳴し、三島市はウォーカブル推進都市に参画する。
- 三島市が取り組んできたスマートウエルネスやガーデンシティにまちづくりの方向性が共通する。

1 経緯

国土交通省では、女性の活躍やスタートアップの拡大など都市経済・社会の「多様性」の促進や、これら多様性の集積・交流を通じた「イノベーション」の創出など、付加価値を創出する「都市」のあり方について検討するため、産官学の関係者からなる「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」が設置され、平成31年2月より会合が行われてきました。

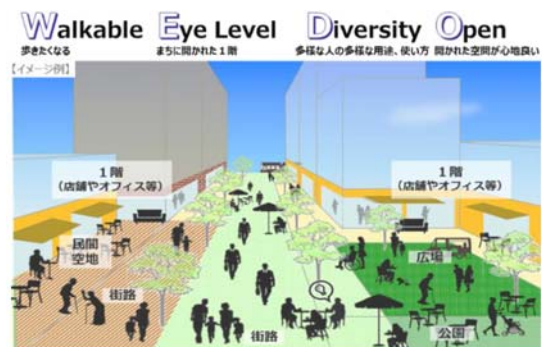
令和元年6月26日の会合において、“WE DO”～Walkable, Eyelevel, Diversity, Open をキーワードとするこれからのまちづくりの方向性が打ち出され、この取組に向けた政策実施のパートナーとして「ウォーカブル推進都市」の募集が行われることとなりました。

2 ウォーカブル推進都市の活動内容

- ・国内外の先進事例などの情報共有
- ・政策づくりに向けた国と地方のプラットフォームへの参加

3 事務局

国土交通省 都市局 まちづくり推進課
街路交通施設課



三島市都市基盤部都市整備課 〒411-8666 静岡県三島市北田町 4-47 担当：杉山正哉
TEL. 055-983-2634 FAX. 055-973-7241 緊急時連絡先 (担当携帯)
e-mail : toshisei@city.mishima.shizuoka.jp

9月の楽寿園イベント

9月の楽寿園もイベントが目白押しです。ぜひお出かけください。

ここがポイント！

- 9月14日(土)～16日(月・祝) 水石展
- 9月15日(日) 三島アロハフェスティバル
- 9月22日(日) セセラキ祭
- 9月20日(金)～29日(日) 秋の動物ふれあい広場
- 9月14日(土)～23日(月・祝) シルバーウィークキャンペーン

1 水石展

日時 9月14日(土)～16日(月・祝) 午前9時～4時30分
内容 愛好家の収集した水石の展示や販売を行います。

2 三島アロハフェスティバル

日時 9月15日(日) 午前10時～午後4時
内容 ステージイベントの他、ハワイのフードを始め、小物・衣装等のお店が出店します！

3 セセラキ祭

日時 9月22日(日) 午前10時～午後4時
内容 今回で10回目となるセセラキ祭。今年は世界のフードやクラフトビール・音楽とパフォーマンスをテーマに、三島市内からの飲食店、ワークショップなどが出店します。

4 秋の動物ふれあい広場

日時 9月20日(金)～29日(日)
内容 ①大人の飼育体験(前日までの要予約)
28日・29日のみ 午前9時30分～午後3時 雨天決行
1日3人限定。獣舎の掃除やエサやりなどを行います。駅前口集合です。
②動物ミステリーツアー 23日のみ 雨天中止
午前10時からと午後1時からの計2回。各30分程度。先着15名。
③設置型動物クイズラリー
20日～27日 動物広場の各所にクイズラリーを設置します。

5 シルバーウィークキャンペーン開催

日時 9月14日(土)～23日(月・祝)
内容 市内外問わず65歳以上のお客様は入園無料となります。(団体のお客様は対象外です。)
入園の際に窓口にて年齢の分かる公的身分証の提示をお願い致します。

三島市産業文化部楽寿園 〒411-8666 静岡県三島市一番町19-3 担当：高井 彩加
TEL. 055-975-2570 FAX. 055-975-8555 緊急時連絡先(担当携帯)
e-mail : rakujiyu@city.mishima.shizuoka.jp
イベント問い合わせ先：・アロハフェス 055-971-4225 ・セセラキ祭 055-955-8665

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

三島市×(株)セブン-イレブン・ジャパン

シニア向け お仕事説明会

三島市と(株)セブン-イレブン・ジャパンは性別・年齢に関わらず、
すべての人が活躍できる社会を目指しています！

平成31年4月12日に三島市と株式会社セブン-イレブン・ジャパンが地方創生に関する包括連携協定を締結しました。この連携事項にもとづき、高齢者の就業や社会参加を支援するため、「シニア向けお仕事説明会」を開催します。

ここがポイント！

- (株)セブン-イレブン・ジャパン社員が仕事内容や実際に活躍しているシニア従業員の事例を紹介し、参加者の就労意欲を高めます。
- 機械操作への苦手意識を緩和するため、店舗で実際に使用しているレジの操作体験ができます。
- 就労希望の方には個別面談を行い、ご希望に沿った店舗をご案内、就労へ結びつけます。
- 本説明会は三島市では初開催となります。

- 1 日時** 8月26日(月) 午後2時～4時
- 2 場所** 三島市高齢者いきがいセンター(三島市大宮町2丁目3番35号・三島市シルバー人材センター内) ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 3 対象** 市内に住所がある概ね55歳以上の人
- 4 申込み** 不要、当日直接会場へ。
- 5 参加費** 無料
- 6 内容**
 - ・午後2時～3時 株式会社セブン-イレブン・ジャパン社員による仕事の説明
 - ・午後3時～4時 個別相談会
POSレジ体験



【シニアの方の得意分野をお仕事に】

三島市健康推進部地域包括ケア推進課いきがい推進係 担当 山田 彩
〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 TEL. 055-983-2759 FAX. 055-975-3159
緊急時連絡先(担当携帯)

市内の全保育園・認定こども園が参加する一大イベント

第11回ほいくえんまつり

～親子でたのしい！親子であそぼう！～

「ほいくえんまつり」は、子育て真っ只中の世代に、保育園の楽しさを伝え、園での遊び等について知ってもらうためのお祭りです。通園児のみならず、未就学児全てを対象としています。今後、お子さんの入園を考えているご家庭にとっては、保育園の様子を知る良い機会となります。

ここがポイント！

- バルーンアート、木のおもちゃ遊び、レインボーステッキ、バスケットボール、お楽しみフォトコーナー、昔遊び等が楽しめます。
- 今年は郷土資料館でもびゅんびゅんごま等を作って遊べます。
- 園長先生による育児相談も行っています。
- 未就学児同伴のご家族は楽寿園入園料が無料になります。(当日9:00～11:30)

1 開催概要

日 時 9月7日(土) 午前10時～正午(雨天中止)

※開会セレモニーは9時45分から

会 場 楽寿園特設会場

2 事業内容

(1) 対象者

通園児及び未就学児とその家族

(2) 市内各園の出し物

バルーンアート、木のおもちゃ遊び、レインボーステッキ、バスケットボール、お楽しみフォトコーナー、ワニワニパニック、アクセサリー作り、ぱくぱく人形作り、ポンポンボール作り、魚釣りゲーム、ヨーヨー釣り、缶バッチ制作、金魚すくい、昔遊びなど

(3) 入園料

午前9時から11時30分までに入場の未就学児同伴のご家族は楽寿園入園料無料

3 主催者

三島市民間保育園長会(共催 三島市)

三島市社会福祉部子ども保育課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当:志村雄大
TEL.055-983-2611 FAX.055-983-2709 e-mail:kodomo@city.mishima.shizuoka.jp
緊急時連絡先(担当携帯)



三島の秋 2019 みしまの文化百花繚乱

第51回三島市民合唱祭

三島市民合唱祭は、三島市内及び近隣市町で活動している多数の合唱団が出演する市内最大の合唱の祭典です。日ごろの練習成果の発表を通じて合唱団が互いに学びあい、団体間の交流を深めることにより、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的に、昭和44年から開催されています。女声、混声、男声、児童の多彩なジャンルの曲が披露され、市民の音楽鑑賞の機会としても親しまれています。

今年度は44の合唱団体が出演します。団体の個性が光る歌声をお楽しみください。

ここがポイント!

- 大人数による合唱やアカペラなど、団体ごとに異なる歌い方をお楽しみいただけます。
- 日本大学三島高等学校・中学校合唱部及び田方農業高等学校の2校が出演します。
- 本事業は、東京2020参画プログラム及び静岡県文化プログラムに認証されました。

1 開催概要

- (1) 日時 9月8日(日) 開場 午前9時30分
午前10時～午後5時30分(予定)
- (2) 会場 市民文化会館 大ホール
- (3) 主催 三島市合唱協議会(会長:青木 不二子)
三島市、三島市教育委員会

(4) 内容

- ・44の合唱団体の発表(持ち時間:1団体8分)
- ・第1部と第2部の休憩時間に、全員合唱を行う。
指揮:青木 不二子 先生
曲目:『花は咲く』(作詞/岩井 俊二 作曲・編曲/菅野 よう子)
- ・全合唱団の発表終了後、講師から団体それぞれに講評をいただき、今後の練習の指針とするとともに、技術向上への取り組みの意欲を培う。
講師:岡部 申之(おかべ のぶゆき)氏
- ・入場料 無料(全席自由)



【第50回三島市民合唱祭】

2 開催実績

	開催日	出演団体数	出演者数	来場者数
第47回	平成27年9月6日(日)	41団体	843人	1,280人
第48回	平成28年9月11日(日)	42団体	930人	1,330人
第49回	平成29年9月10日(日)	37団体	786人	1,200人
第50回	平成30年9月9日(日)	40団体	813人	1,200人

三島市産業文化部文化振興課 〒411-8666 静岡県三島市大社町1-10 担当:佐藤 良平
TEL. 055-983-2756 FAX. 055-981-7720 緊急連絡先(担当携帯)
e-mail: bunka@city.mishima.shizuoka.jp

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～



三島市地域けんこうたい・学生・行政の連携事業

自殺予防週間街頭キャンペーン

～こころの健康に関する知識の普及啓発～

全国では年間2万1千人もの方、県内においては600人強、三島市においても年平均20人の方が自殺で命を失っており、依然として深刻な状況にあります。（平成30年警察庁自殺統計による。平成30年は静岡県602人、三島市16人。）

自殺予防の推進には、自殺についての誤解や偏見をなくし、正しい知識を普及・啓発を続けていくことが重要です。そのため、9月10日の世界自殺予防デーにちなみ、9月10日から16日が自殺予防週間に設定され、様々な活動が行われています。

三島市では、年齢別・性別の統計で特に自殺者数が多いとされている中高年男性や若年層に重点をおき、うつ及びこころの健康についての理解や、相談機関についての普及・啓発を目的とした街頭キャンペーンを通勤・通学時間帯に実施します。

ここがポイント！

- 平成31年3月に「いのち支える三島市自殺対策計画」を策定し、その中の自殺に対する普及啓発施策の一つとして実施します。
- 三島市保健委員OBを主体としたボランティアグループ「三島市地域けんこうたい」の会員や順天堂大学保健看護学部の学生と、行政が共同で行う、年に1回のキャンペーンです。
- 通勤・通学の時間帯に合わせて三島駅で行うことにより、働き盛りの年代や若年層に直接アプローチができます。
- みしまるくん・みしまるこちゃんや、ちゃっぴーと一緒に幅広い年代層に向けてPRします。

1 開催概要

- 日時 9月9日（月）午前7時45分～8時20分 ※配布が終わり次第終了
- 場所 三島駅南口ロータリー
- 内容 三島駅利用者に対し、自殺予防について普及・啓発するためのパンフレット・グッズを配布
※グッズは、精神障がい者を対象とする就労継続支援事業所で製作されたものを使用
- 参加者 「三島市地域けんこうたい」会員
順天堂大学保健看護学部学生
静岡県東部健康福祉センター福祉課
三島市健康づくり課職員
みしまるくん・みしまるこちゃん
(三島市のマスコットキャラクター)
ちゃっぴー (静岡県のマスコットキャラクター)



3 これまでの経過

- ・平成24年より毎年9月に実施。
- ・平成29年9月13日（水）三島駅南口 1000人
- ・平成30年9月13日（木）三島駅南口 1000人



【昨年の様子】

三島市健康推進部健康づくり課 〒411-8666 静岡県三島市南二日町8-35 担当：伊藤
TEL. 055-973-3700 FAX. 055-976-8896 緊急時連絡先（三枝課長携帯）
e-mail : kenkou@city.mishima.shizuoka.jp

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

9月16日（祝・月）は「敬老の日」です

敬老標語コンクール・敬老大会

～敬老意識の向上、高齢者の生きがいづくり・きずなづくり～

三島市では、市内に居住する高齢者の長寿を祝福し、長年、社会に貢献されてきたことへの敬意を表するとともに、地域とのきずなを深め、豊かな生活となるようにするため、2つの事業を開催します。

ここがポイント！

- 敬老標語コンクール：市内小中学生のお年寄りを大切に思う気持ちが標語で表現されています。
日本大学三島中学校が今年度初めて参加しました。
- 各地区敬老大会：各地区の自治会連合会が主催し、市内で演芸やカラオケ、ゲーム、高齢者表彰などを行い、長寿を祝います。

1 敬老標語コンクール入選作品の展示

(1) 展示期間・場所

8月19日（月）～8月23日（金）三島市役所本館玄関ロビー

8月27日（火）～9月27日（金）三島市老人福祉センター

(2) 事業内容

市内小中学生の応募作品7,052点の内、入選28点（小学生の部14点、中学生14点）を展示

令和元年度最優秀作品

小学生の部：西小6年 安部 晴香（あべ はるか）さん

「聞いてごらん 過去と未来を つなぐちえ」

中学生の部：中郷中1年 服部 南奈（はっとり なな）さん

「祖父と祖母 絶対見てね はれ姿」



【敬老標語コンクール表彰式の様子】

2 各地区敬老大会

(1) 開催概要

開催日：中郷地区（9月3日～5日）、錦田地区（9月10日～12日）、

東部地区（9月18日～19日）、中部地区（9月25日）、

西部地区（9月26日）※各日10時～、中部のみ10時半～

場 所：三島市老人福祉センター（三島市川原ケ谷839-1）

※北上地区は、各自治会で開催されます。

(2) 事業内容

各地区の自治会連合会が主催し、敬老大会を開催します。

演芸、カラオケ、ゲーム、高齢者表彰などを行い、長寿を祝います。



【敬老大会の様子】

三島市社会福祉部福祉総務課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：藤井
TEL. 055-983-2610 FAX. 055-976-5555 緊急時連絡先（担当携帯）
e-mail：hukusou@city.mishima.shizuoka.jp



「未来を拓くこれからの家庭のあり方」

男女共同参画講演会

～ 身近なところからジェンダーについて考えてみませんか ～

来年度、現行計画の期間が終了となり、新たな男女共同参画プランを策定するため、多くの市民の方に男女共同参画とはどういったものかを知っていただくための講演会を開催します。

「男女共同参画とよく聞けれど、どういうこと？」といった疑問を、今回は静岡県立大学で家族の形態やジェンダーについて研究している講師を招いて、軽妙な語り口でわかりやすく講義いただきます。

ここがポイント！

- 男女共同参画＝すべての個人一人一人が性別にとらわれず主役として活躍できること
- 国、県で活躍する講師から男女共同参画について学べるチャンスです。

1 開催概要

日時	9月21日(土) 午後2時～4時
場所	市民生涯学習センター3階 講義室
演題	「男女共同参画講座～未来を拓くこれからの家庭のあり方」
講師	犬塚 協太 先生(静岡県立大学国際関係学部教授)
定員	150名
募集期間	9月13日(金)までに政策企画課へ氏名と参加人数をご連絡ください。
託児	希望される場合はお申し込み時にご連絡ください。 (5名まで・先着順)



講師の犬塚先生

2 講師プロフィール

○公 職

内閣府男女共同参画推進連携会議議員
静岡県しずおか男女共同参画推進会議教育部会長
沼津市男女共同参画推進委員会委員長 等を歴任

○主要研究テーマ

近代家族の形成と変動、グローバル化とジェンダー、家族の変容
ジェンダー政策、家族政策の展開と国際比較

3 女性まちづくり講座について

10月中旬から12月の隔週土曜日に市民の皆様の男女共同参画プランへ反映させるためのワークショップを開催します。本講演会は第1回女性まちづくり講座の基調講演として開催します。

詳細は広報みしま9月15日号に掲載予定です。

三島市企画戦略部政策企画課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：田中実里
TEL. 055-983-2616 FAX. 055-975-3111 緊急時連絡先(担当携帯)
e-mail: seisaku@city.mishima.shizuoka.jp

秋の全国交通安全運動

～安全をつなげて広げて 事故ゼロへ～

市民一人ひとりが、自らの交通安全に関する意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止を図ります。

交通事故の原因として追突や出会い頭での事故が半分を占めます。これ以上同様な交通事故を増やさぬよう、市民に交通安全啓発を推進します。

ここがポイント！

- **事前一斉街頭広報の日（9月20日（金））**：本運動の開始を広報するとともに、街頭における交通指導等を行い、期間中に行われる各種活動への取組意識を高めます。
- **ピカッと作戦！自転車事故防止作戦（9月26日（木））**：交通安全協会や三島警察署など交通安全団体と協働で、三島駅北口駐輪場周辺にて啓発を行います。自転車利用者に反射材の着用や自転車保険加入義務化の周知を行います。

1 開催概要

日時 9月21日（土）～30日（月）の10日間
場所 三島市内各所

2 事業詳細

- ・9月25日（水） 白道保育園にて、「シートベルトとチャイルドシートの着用推進活動」を実施します。交通安全指導員及び母の会役員とともに啓発を行います。
- ・9月27日（金） 三島市文教町1丁目の高齢者宅を訪問し、交通安全指導を行う「二人三脚高齢者訪問指導」を実施します。
- ・9月30日（月） 全国一斉に行う「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせ、函南町と合同で国道沿いにパネルやのぼり旗を持って通行車両に交通安全を呼びかけます。

3 これまでの交通安全運動の様子



【交通事故ゼロを目指す日（平成30年秋）】



【二人三脚高齢者訪問（令和元年夏）】



【一斉街頭広報（令和元年夏）】

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

小学生・中学生の環境衛生に関する力作が一堂に

環境衛生週間ポスター・標語展「優秀作品の展示及び表彰式」

～「みんなで育て 未来へつなぐ 環境先進都市・三島」を目指して～

三島市では、若い世代の環境衛生に対する意識の向上を図るため、環境衛生週間に合わせて、市内の小学4年生から中学3年生までを対象に、環境衛生に関する啓発ポスター及び標語の作品を募集しています。

応募のあった作品のうち優秀な作品については、「環境衛生週間ポスター・標語展」として作品の展示及び表彰式を開催します。

ここがポイント！

- 本事業は昭和58年度から実施しており、本年度で第37回になります。
- 標語の特選作品についてはのぼり旗を作成し、各種環境衛生イベントで掲示・活用します。
- 環境衛生週間とは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行日である9月24日（清掃の日）から「浄化槽法」の施行日である10月1日（浄化槽の日）までの1週間（8日間）を言います。

1 優秀作品（特選及び入選作品）の展示

9月21日（土）～10月4日（金）【祝日・日曜日を除く】

月～金：午前8時30分～午後5時15分

土：午前8時30分～正午

三島市役所本館 玄関ロビー

2 優秀作品（特選及び入選作品）の表彰式

10月7日（月） 午後6時30分～

三島市役所本館3階 第1会議室

3 表彰数（予定）

ポスターの部（小学生・中学生各18点、計36点）

特選6点（市長賞2点、市議会議長賞2点、教育長賞2点）、
入選10点、佳作20点

標語の部（小学生・中学生各18点、計36点）

特選6点（市長賞2点、市議会議長賞2点、教育長賞2点）、
入選10点、佳作20点**4 過去の応募状況**

平成26年度 ポスター367点、標語1,306点、計1,673点

平成27年度 ポスター391点、標語1,140点、計1,531点

平成28年度 ポスター384点、標語1,500点、計1,884点

平成29年度 ポスター348点、標語1,476点、計1,824点

平成30年度 ポスター354点、標語1,413点、計1,767点



（小学生）



（中学生）

【昨年度の市長賞】



【昨年度の表彰式】

※現在は作品募集中であるため、受賞作品決定後に改めて詳細をお知らせいたします。

三島市環境市民部廃棄物対策課 〒411-0000 静岡県三島市字賀茂之洞4703-94 担当：江間
TEL. 055-971-8993 FAX. 055-971-8994 緊急時連絡先（担当携帯）
e-mail : haitai@city.mishima.shizuoka.jp



第24回三島市市民講座

～心臓は静かに頑張っています～

全身に血液を送りだす心臓の働きが悪くなる心疾患は、手当てが遅れると生命に関わることもある重大な病気です。昭和60年に脳血管疾患にかわり日本人の死亡原因の第2位となり、その後も死亡数・死亡率ともに増加傾向が続いています。今年、この「心臓」をテーマとして講演会を行います。

また、講演会の前には医師や薬剤師などによる相談コーナーも設け、日頃の疑問を直接相談していただける機会を作っています。

ここがポイント！

- 三島市医師会の全面的な協力により毎年行っている事業で、三島市の医師が司会進行や相談スタッフを行います。
- 特定健診の結果に疑問があれば、結果を持っていくと医師が相談にのってくれます。

1 開催概要

日時 9月28日(土) 午後2時～5時(開場午後2時)
 場所 市民文化会館 小ホール
 内容 午後2時～3時 会場内のブース訪問
 救急救命処置体験コーナー、医療相談コーナー、薬剤師相談コーナー
 午後3時10分～ 講演会

2 詳細内容

<司会> 齋藤医院 齋藤祐一 医師

<講演> (午後3時10分～4時)

1. 突然の胸痛やドキドキ! どうする?
宮内まこと記念クリニック 吉富 雄治 医師
2. 食生活から予防～血管を守ろう～
三島総合病院 管理栄養士 荻野 由夏 さん

<特別講演> (午後4時～4時50分)

“大切なのは健康寿命。心臓生き生き、元気で長寿”

国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 副院長 佐藤 康弘 医師

3 補足情報

- ・毎年、多くの方に参加していただいている講演会です
- ・入場無料、申し込み不要でどなたでも参加できます。
- ・要約筆記、手話通訳もあります。
- ・駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。

三島市健康推進部健康づくり課 〒411-0832 静岡県三島市南二日町8-35 担当：大工原
 TEL. 055-973-3700 FAX. 055-976-8896 緊急時(担当者)連絡先：
 e-mail : kenkou@city.mishima.shizuoka.jp



遺伝学講座・みしま

～ 魚、昆虫を通してわかったヒトの遺伝について迫ります ～

市内にありながら普段あまり知られていない国立遺伝学研究所で、どのような内容を研究しているのかをわかりやすく情報発信し、研究所のメンバーと市民との交流を深めるため、講演会「遺伝学講座・みしま」を開催いたします。

この講座は公益財団法人遺伝学普及会と三島市が、平成24年度から連携事業の一環として行っています。豊富な研究内容を広く市民に情報発信することで、基礎科学のおもしろさや素晴らしさにふれていただき、あわせて市民の科学に対する興味や好奇心を高めます。

ここがポイント！

- 本年度は熱帯魚をつかった遺伝学の研究からわかることと神経細胞や電子顕微鏡の仕組みに関する2つの講演を実施。
- 他市町からの聴講も歓迎。中学生にもわかる内容でお話しいたします。

1 開催概要

日時 9月29日(日) 午後6時開演 ※開場午後5時30分

場所 市民文化会館小ホール

講師及び演題

(1) 国立遺伝学研究所 発生遺伝学研究室

川上 浩一 教授

「モデル生物ゼブラフィッシュで生命の謎を解く」

(2) 国立遺伝学研究所 遺伝子回路研究室

鈴木 えみ子 准教授

「ミクロの世界の遺伝学」～電子顕微鏡で解き明かす生命の不思議～

参加費 無料

定員 先着350名(要申込)

主催 公益財団法人遺伝学普及会、三島市

後援 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所

申込み 9月24日(火)までに政策企画課へ電話・FAX・メールのいずれかで、氏名・申込人数・連絡先をお伝えください。電子申請でも受け付けます。



川上先生(上)と
鈴木先生(下)

2 国立遺伝学研究所とは

- ・ 1949年(昭和24年)、国内で唯一の遺伝学に特化した国立研究機関として設置され、2019年に創立70周年を迎えた。
- ・ 遺伝学に関する最先端の研究を行うと同時に、生命科学の新たな研究分野の開拓に挑戦している。
- ・ 大学共同利用機関法人として、全国の大学に共同利用・共同研究・人材育成の機会を提供している。特に近隣の静岡大学とは、教育振興を目的とした連携を実施している。

三島市企画戦略部政策企画課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：田中実里
TEL. 055-983-2616 FAX. 055-975-3111 緊急時連絡先(担当携帯)
e-mail: seisaku@city.mishima.shizuoka.jp

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～



三島地区環境保全推進協議会 設立40周年記念 環境講演会

「SDGsの意義と企業等の取り組み」
～ 未来に向かってみんなで力を合わせよう ～

SDGs (エス・ディー・ジーズ)「持続可能な開発目標」は、国連加盟国と多様な組織、人々によって作られ、2015年の国連サミットにおいて、全会一致で採択されました。

世界中の誰もが力を合わせて、地球上の自然の恵みを大切に、すべての人が豊かさを感じられる平和な世界を作ろうという、世界に向けた17の国際目標のことで、気候変動への具体的な対策やクリーンエネルギー、住み続けられるまちづくりなどの目標が掲げられています。

この目標達成に向けて、各国が積極的に取り組み、政府だけでなく地方自治体や企業、諸団体、市民一人ひとりにも役割があり、それぞれがパートナーシップを築き、協力・連携することが求められています。

この講演会では、SDGsの意義や日本の大きな役割を解説し、企業、自治体、市民のSDGsの取り組み事例を紹介していただきます。

ここがポイント!

- 最新の専門情報を提供しつつ、SDGsに関して専門的になりすぎず、丁寧でわかりやすい講演。
- 来場者には記念品(トレシー)を進呈。

1 開催概要

日時	9月30日(月)午後1時30分から(午後1時開場)
場所	市民文化会館 小ホール
講師	進藤勇治氏(産業評論家)
演題	SDGsの意義と企業等の取り組み
参加費	無料
定員	350人(要申込)
申込先	9月25日(水)までに環境政策課(055-983-2646)

2 協議会の概要

三島地区環境保全推進協議会は、三島市及びその周辺の企業約70社からなる協議会です。地域の環境保全の推進を図るために、三島市と公害防止協定を結んだ企業や本会の趣旨に賛同する事業所でもって昭和54年に設立されました。事業内容は環境に関する講演会の開催や河川清掃等のボランティア活動、環境先進地への視察など、多岐にわたる活動を展開しています。

【協議会の主な事業】

- 5月 楽寿園植栽・清掃奉仕活動
- 6月 環境講演会
- 7月 水生生物観察会
- 10月 楽寿園清掃奉仕活動
- 11月 環境講演会
- 2月 技術研修会



【三島地区環境保全推進協議会の活動
(楽寿園清掃奉仕活動)】

三島市環境市民部環境政策課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：原 正彦
TEL. 055-983-2646 FAX. 055-976-8728 緊急時連絡先(担当携帯)
e-mail : kankyoun@city.mishima.shizuoka.jp